

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	平成25年度第3回吉川市児童福祉審議会
開 催 日 時	平成26年1月29日(水) 午後6時00分から 午後8時20分まで
開 催 場 所	吉川市役所第2庁舎204会議室
出席委員(者)氏名	和泉広恵会長、田中公明委員、戸張精一委員、林美希委員、 小助川美穂委員、林桂委員
欠席委員(者)氏名	五十嵐修委員、長井圭子委員、
担当課職員職氏名	子育て支援課 課長 戸張悦男 教育総務課 課長 上原良夫 子育て支援課 課長補佐 伴茂樹 子育て支援課児童福祉係 係長 濱田智恵 子育て支援課保育係 係長 渡辺剛 教育総務課管理係 係長 宗像浩 子育て支援課児童福祉係 主任 高尾匡
会議次第と会議の公開又は非公開の別	1 開 会 2 議 事 (1) 吉川市子ども・子育て支援事業計画作成のために実施する 利用意向等把握調査(ニーズ調査)の概要について (2) 吉川市子ども・子育て支援事業計画作成のために実施する 利用意向等把握調査(ニーズ調査)の集計結果(速報)(案) について (3) 「(仮称)吉川市子ども・子育て支援事業計画」の策定方針 (案)について (4) 子ども・子育て支援新制度の動向について (5) その他 3 閉 会 すべて公開
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)	なし
傍 聴 者 の 数	2名
会議資料の名称	次第、資料1、資料2-1、資料2-2、資料2-3、資料3 資料4、教育・保育提供区域図
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	田中公明委員、戸張精一委員
その他の必要事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
事務局	<p><開会></p> <p>ただ今から、平成25年度第3回吉川市児童福祉審議会を開催させていただきます。本日は、大変お忙しい中お集まりいただき誠に有難うございます。</p>
事務局	<p><事務局挨拶></p> <p>戸張子育て支援課課長あいさつ。</p>
事務局	<p><資料確認></p> <p>配付資料の確認。</p>
事務局	<p><吉川市子ども・子育て支援事業計画作成のために実施する利用意向等把握調査(ニーズ調査)の概要について説明></p> <p>【関係資料】</p> <p>資料1「吉川市子ども・子育て支援事業計画作成のために実施する利用意向等把握調査(ニーズ調査)の概要」</p>
和泉会長	<p>只今のご説明に対して何かご質問等ありますか。</p>
和泉会長	<p>なければ次の議題に進んでもよろしいですか。委員了承。</p>
事務局	<p><吉川市子ども・子育て支援事業計画作成のために実施する利用意向等把握調査(ニーズ調査)の集計結果(速報)(案)について説明></p> <p>【関係資料】</p> <p>資料2-1「吉川市子ども・子育て支援事業計画作成のために実施する利用意向等把握調査(ニーズ調査)の集計結果(速報)(案)から見えてくる傾向等について」、資料2-2「吉川</p>

	<p>市子ども・子育て支援事業計画作成のために実施する利用意向等把握調査（ニーズ調査）の集計結果（速報）（案）〈就学前〉」及び資料２－３「吉川市子ども・子育て支援事業計画作成のために実施する利用意向等把握調査（ニーズ調査）の集計結果（速報）（案）〈小学生〉」</p>
和泉会長	<p>1点確認したいのですが、ファミリー・サポート・センターの利用料金を平日、30分300円と説明していたが、資料では1時間600円となっているがなぜか。</p>
事務局	<p>利用料金は、平日だと30分300円です。資料では、わかりやすく1時間の利用料金を記載しました。</p>
和泉会長	<p>わかりました。何かご意見、ご質問等がありますか。</p>
林美希委員	<p>資料のニーズ調査の結果は、興味深く拝見した。委員としてではなく母親として不安もあったが、予想以上に傾向等について希望が持てる内容を示していただいた。現在も保育所への入所待ち児童が153人いる。今、吉川美南駅に住宅がたくさん建ち子育て世帯も増えると思われ、ここ2、3年が児童数のピークだと思う。施設を整備するのは時間や費用がかかると思うが、スピーディーに対応していただきたい。</p>
和泉会長	<p>それぞれのニーズ合った細かいサービスが必要であるが、それよりも、今、必要とされる部分について対応できるのかという質問であるがいかがか。</p>
事務局	<p>ニーズ調査の結果からも保育関係の需要については高く、重要であると認識しています。吉川美南地区については、新しい</p>

	<p>まちで人口も順調に増えています。その中で子育て世帯の方も転入しており、市内の他の地域と比較しても、倍くらいの割合で保育施設のニーズがあります。そこで、現在、複数の保育事業者と話を進めています。ただ、施設の整備については時間がかかり、最低でも年単位の時間が必要となります。現時点で保育事業者も前向きに検討しているようですので、できるだけ早い時期に明るい見通しを立てられればと考えています。当然、計画は平成27年度からスタートすることとなり、できるだけ計画の中に盛り込んでいきたいと考えております。</p>
<p>和泉会長</p>	<p>他にはいかがですか。</p>
<p>林桂委員</p>	<p>学童保育室について6年生までになると、現在ある教室よりも増やさなければならないと思う。ただ、平成27年の4月までに現時点で実現できるとは思えない。具体的にどのように計画が立てられていくのかがわからない。</p> <p>3か月に1回、学童保育室利用児童の保護者を集めた会議を行っている。会議の中で出た意見やニーズ調査の質問にもあったが、平日は、午後4時くらいに児童が帰ってきて、保護者が帰ってくるまでの数時間程度であれば児童も待つこともできる。冬休みは、普段より利用人数が減るとの意見もあり、せめて長期休業日だけでも預かってもらいたい。いきなり4年生になって、夏休みを1日中1人で居させるのはいかがなものかと思う。</p>
<p>和泉会長</p>	<p>具体的に資料2-1の傾向にあるが、そもそも見込みとして具体的な実現可能性としてどの辺りにあるのか、また、ニーズとしては、4年生から6年生の年齢を考えると長期休業日の対応が求められていると考えるがいかがか。</p>

事務局	<p>今回、ニーズ調査を実施させていただき、高学年からの貴重な御意見をいただきました。小学校の高学年については、児童福祉法が一部改正され平成27年の4月から小学生全員が対象となります。ニーズ調査の結果について詳細な分析をしている最中ですが、どのくらいの設定が必要なのかについては、次回以降にお示ししたいと考えています。</p> <p>現在、市内の学童の状況は、8つの小学校に17の放課後児童クラブを設置しています。美南学童には1クラブ余裕があり、現時点において全体で利用できるクラブ数は、18クラブあります。また、1クラブの定員が40人と規定される見通しとのことです。来年度、基準を条例化しますが、施設を短期間で作ることは困難ですが、利用意向が高ければ教育委員会や学校と連携し対処していきたいと考えていますので、その辺りの見通しも踏まえて計画に盛り込んでいきたいと考えています。</p>
林桂委員	<p>現在、土曜日は午後5時となっていて、土曜日にいきなり午後5時までと仕事が短くなることはないと思う。</p>
事務局	<p>土曜日の学童保育室の時間は、以前から御意見としていただいていた。運営上の問題等で実現には至っていませんが、今回のニーズ調査において利用意向が高いと改めて認識しました。実際に運営が可能かどうか内部で検討していきたいと思えます。</p>
和泉会長	<p>他にいかがか。</p>
田中委員	<p>ニーズ調査の結果を見て気になったのが2点ほどある。小学生の13ページの間17について「子育て支援についてどう考えていますか」の結果について、不満やどちらかという不満</p>

	<p>という回答が多かったと感じた。それに対する傾向についてふれられていないことが1つと、もう少し不満の原因がわかれば良かったと思う。どうしたら、サービスの向上につながっていくのかが、今一見えてこないと感じた。</p>
和泉会長	<p>おそらく就学前については27ページ、小学生については13ページの回答だと思う。実態の把握というよりは、市の現在の状況に対する市民の方の評価になると思うが、不満やどちらかという不満という回答が決して少くない項目も見受けられる。本日の案の中では触れられていないが、事務局としてどのように考えているか。</p>
事務局	<p>担当からも説明させていただきましたが、記述回答の集計ができていません。記述回答にも不満等と連動した原因が記載されている場合もあります。特に不満等の割合が高い事業については、何らかの原因がある可能性がありますので、その辺りについて検証をしながら計画に盛り込める内容については盛り込んでいきたいと考えています。</p>
和泉会長	<p>医療等の面は、わりと充実していると捉えられていると思うが、仕事と家庭生活の両立や犯罪・事故の軽減に関しては、満足していない回答が多いという印象がある。項目ごとに数値が違うので、特に不満についての原因を追究してもらえれば有難いと思う。</p>
林美希委員	<p>アンケートの最後に自由意見がある。数字をまとめるだけでも大変だと思うが、多かった意見については、資料の最後の方でもいいので読んでみたいと思う。</p>
事務局	<p>どのような形でお示しするのかについては、事務局で検討さ</p>

	<p>せていただきますが、ある程度、具体的な御意見がありましたので分析をしてカテゴリー分けするなど、工夫をしながらお示ししたいと考えています。</p>
和泉会長	<p>数値が高い項目については、ある程度予測していたか。</p>
事務局	<p>現時点で、そこまでの分析はできていないため、次回以降に量の見込みも含めてお示ししたいと考えています。</p>
林美希委員	<p>数字は出ていなくても、市民や保育所の方と話している中や、個人としてでも感じている部分はないか。個人的に市として頑張してほしいところはないか。</p>
和泉会長	<p>今までその辺りで議論になったことがあれば伺いたいと思うがいかがか。</p>
事務局	<p>個々の職員で感じていることはあると思いますが、組織としてまとまっていませんので、そこまでの把握はしていない状況です。また、保育所や幼稚園等の関係者の方々からの御意見も参考にまいります。</p>
和泉会長	<p>他にお気づきの点等ありましたら、お願いします。</p>
田中委員	<p>資料2-1に子ども・子育て支援事業計画作成の方向性として子育て支援事業を充実させていくとあるが、その辺をもう少し具体的にしていただけるといいかなと思う。</p>
事務局	<p>次回、ニーズ調査の数値を基に量の見込みをお示しさせていただきます。量の見込みについては、現在の家庭の類型がどうい</p>

	<p>う状態なのか、また、パート等の今後の就労意向などの潜在的な家庭の種類の数値も踏まえて算定していきます。それを踏まえて当市において年度ごとに、どのくらいの需要があり供給がどのくらい必要なのか案としてお示しさせていただきます。その際にもう少し踏み込んだ議論をしていただきたいと思います。</p>
<p>和泉会長</p>	<p>他に何かご質問等がありますでしょうか。</p>
<p>林美希委員</p>	<p>資料2-1の方向性の中に、「幼稚園、保育所等に認定こども園の移行等について確認する必要がある。」と記載されているが、以前、五十嵐委員から幼稚園の認定こども園の移行については、移行の意思があまりないと言っていた。移行を確認してその意思がなければ新設もあるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>現在、市内に認定こども園はありません。近隣ですと越谷市、松伏町に認定こども園があります。今後の見通しですが、保育所については、制度改正であまり大きな影響を受けないと考えています。大きな影響を受けるのは、幼稚園かと思われます。</p> <p>幼稚園に関しては、保護者からの利用料金である自己負担と私学助成で運営されています。今後は、私学助成が無くなるわけではありませんが、所得に応じた応能負担と私学助成に変わるものとして施設型給付費で運営していくこととなるため、運営上の仕組みが大きく変わってきます。今後、幼稚園が一定の条件を整えれば認定こども園の移行も可能ですが、これまで具体的な相談はありません。なお、新しい事業者の方も含めて相談があれば、できるだけ柔軟に対応していきたいと考えています。</p>

林美希委員	市から事業者に対して積極的に誘致していくのか。
事務局	需給の関係で不足があれば、行政も事業者に働きかけていく場合もあり得ると考えています。
林桂委員	入所待ち児童数の中で一番多いのは何歳か。
事務局	入所待ち児童数の中では1歳、2歳が多い状況です。1歳は51名、2歳は42名となっています。
林桂委員	幼稚園の延長保育が午後7時までになった。ただ、利用できるのは、登園している方だけである。1歳、2歳の待機児童数は減らないのではないか。
事務局	その通りで、1歳2歳の保育需要を満たすには保育所を整備するか、認定こども園へ移行していただくしかないと思われます。
林美希委員	今、1歳、2歳の困ったお父さん、お母さんが100人くらいいる。特に女性として仕事に復帰するにはプレッシャーがある。もちろん、いろいろな方から聞いていると思うが、早めに対応をお願いしたい。
事務局	御意見を踏まえて、最速で対応していきたいと考えています。
和泉会長	重要な課題であると認識していただいている。その他いかがでしょうか。
小助川委員	土曜日の保育が足りない、日曜日の保育が欲しい等の意見が

	<p>あるが、今一度、働き方を見つめ直していくことも必要なのではないかと考える。働く時間が長いから、働かざるを得ない環境がある。例えば、市内の事業者だけでも土曜日、日曜日を休みにする、少なくとも子育て世帯は休みにするなど、ワーク・ライフ・バランスを指導していくような動きについて市役所の風潮などはあるか。</p>
和泉会長	<p>今回のニーズ調査の中で、育児休業をどれだけ取れるかといった調査もあった。取得したいけど取れないなどの回答もあった。保育の充実も必要だが、それと同時に働き方、育児休業をどのくらいとれるか等について計画に盛り込んでいくことも必要なのではないかとも思うがいかがか。</p>
事務局	<p>国もワーク・ライフ・バランスについての問題は、重要だと位置付けています。また、ここ10数年の間に保護者の就業形態が以前と変わってきていることも認識しています。特に近年では、周辺に大型商業施設ができ、そのため、保護者の方も土曜日、日曜日に近隣の大型商業施設で就業しているというのが最近の傾向であるとともに、ニーズ調査の結果にも表れてきているのかなと感じています。</p> <p>行政としてどのような形でそういった方々のニーズに対応していくのか、いろいろと検討していく必要があると思います。1つの方法として休日保育という制度もありますが、現在、市内で休日保育を実施している保育所はありません。こういった内容についても内部で議論しながら、休日保育についても次回以降の審議会において議論していただければと考えています。</p>
和泉会長	<p>両方のバランスが必要で、大きな意味での子育て支援という捉え方で、働く側についても計画に盛り込んでいただければと</p>

林美希委員	<p>思う。</p> <p>私は働いていないが、働いている友人と保育所や病児保育がたくさんできればいいねと話している。ワーク・ライフ・バランスについても、休めるときは休める社会だといいと話している。</p>
和泉会長	<p>望ましい働き方というのが今回のニーズ調査でも出ている。</p> <p>1点質問したい。土曜日、日曜日の利用については記載されていたが、幼稚園の長期の休みの預かりについて資料2-1に入っていないが、どのように捉えているか伺いたい。</p>
事務局	<p>利用する必要がない方と、週に数日利用したい方が約40%と、同程度となっています。幼稚園と保育園の違いが出てきますが、現在ですときちんとした利用があれば一時保育を利用していただけてもらっています。この部分につきましても、検証していきたいと思います。</p>
林美希委員	<p>市内の殆どの幼稚園は、お盆等は休みだが一時預かりを行っている。現状に不満や利用できない環境ではないと思う。</p>
事務局	<p>この数字だけでは見えてこない部分もありますので、クロス集計もかけながら分析したいと考えています。</p>
和泉会長	<p>他に御意見等がありますか。</p>
林美希委員	<p>就学前の27ページ、問28についてだが、いろいろな質問で、「わからない」という回答が多い。市としては、子育て支援事業を行っているが、わからないと回答している方がかなり多</p>

事務局	<p>いというのは、母親学級で冊子をもらったこともあるが、資料が多すぎて目を通せない。情報が多いので、もう少しすっきりとシンプルにまとめてみてはどうか。</p> <p>結果をみると、わからないという回答が多いと感じています。調査の中での説明も足りなかったかもしれないが、情報の出し方も考えています。行政サービスについては、市のホームページでも情報提供していますが、事細かに説明しているため、どうも見る気がしない等の意見もありました。そこで、昨年12月に民間事業者と協力し市ホームページとは別に子育て応援サイトを構築しました。同じ行政サービスでもわかりやすい言葉で案内しており、これから利用していただきたいと思っています。また、併せて市民の方の目線で情報提供を行っていくサイトの構築も現在進めています。順調に進めば、この春に公開できると考えています。</p>
和泉会長	<p>よろしいでしょうか。それでは、次の議題に移っていきたいと思います。</p>
事務局	<p><「(仮称)吉川市子ども・子育て支援事業計画」の策定方針(案)について説明></p> <p>【関係資料】</p> <p>資料3「(仮称)吉川市子ども・子育て支援事業計画」の策定方針(案)について</p>
和泉会長	<p>何かご意見、ご質問等ありますか。</p>
田中委員	<p>基本理念のところでは、いいのではないかと思うが、具体的にどのようなアプローチで実現化していくのかが大切である。</p>

	<p>子育て支援のサービスについてポイント、ポイントは記載しているが、どういう時系列で支援事業が受けられるのかが非常にわかりにくい。受ける方からすると年齢で受けられるサービスが違ふと思う。もう少しわかりやすい形で、18歳までこのようなサービスが受けられるということを、目で見えてわかるようにするとよいと思う。</p>
和泉会長	<p>事業計画なので、いろいろと制約があるかと思うが、サービスにアプローチできないというところですが、いかがか。</p>
事務局	<p>計画については、市民に案内していく際にわかりやすい形で示していきたいと考えています。また、計画策定後に実施する事業については、わかりやすい言葉で表現するとともに、御意見も踏まえて案内の仕方等についても事務局で工夫していきたいと考えています。</p>
林美希委員	<p>流山市では、「母になるなら流山市」というキャッチコピーがある。流山市が実施していることは、吉川市でも実施しており、流山市に内容で負けていないと思う。私も審議会に出席し質問したら、わかりやすい言葉で説明してもらって納得できた。市民の方にもわかりやすい言葉で案内できると満足度も上がると思う。</p>
和泉会長	<p>計画は計画としてきちっと作成していただきたいが、市民の方は、理念以上に具体的な支援について関心があるので、目に見える形で計画が実施されるようお願いしたい。</p>
事務局	<p>市でも子ども・子育て関係は重要な施策と捉えており、PRの仕方も重要だと感じています。当市も他市に負けなくらい</p>

和泉会長	<p>の事業を実施していると考えていますので、PRの仕方についても関係部署と連携しながら検討していきたいと考えています。</p> <p>他に何かありますか。</p>
田中委員	<p>もう1つ気になっているところがある。理念にも記載されているが、地域とのつながりはどのような形で推し進めていけばいいのか気になっている。行政として各地域に子育て支援の体制づくりをどのように考えているのか。</p>
事務局	<p>この件については一番重要と考えています。現在、第5次吉川市総合振興計画に取り組んでいますが、特に子育てに関する施策につきましては、地域、民間、行政が力を出し合い、はじめて成り立っていくと考えています。このような考え方の1つとしてホームスタート事業があります。また、子育て支援センターも地域の方が運営するなどの事業を展開しており、理念を計画の中に位置付けていきたいと考えています。</p>
田中委員	<p>私が聞いていることとして、ある環境の中で3分の1の方が子育て支援を受けて、3分の2は、受けていないとか、知らないということで、多くの方は子育て支援に関わることがない状況である。資料2-1の事業計画の方向性にもあるが、子育て支援事業の周知方法について検討するとあるため、その中でも多くの方に子育て支援を利用いただくための検討をお願いしたい。</p>
和泉会長	<p>広い意味での子育て環境づくりである。例えば、ニーズ調査の中に子育て支援サービスを知っているけれども、相談しよう</p>

事務局	<p>と思わないなどの声もある。このようなことに対応していければニーズに応じていけると思うが、いかがか。</p> <p>考え方、理念等を計画に盛り込み出来るだけ多くの方々に子育て支援サービスを利用していただき、子育ての楽しさ等を実感していただけると嬉しく思います。</p>
林美希委員	<p>ファミリー・サポート・センターやホームスタート事業は、地域の方々が講習を受講し登録したうえで事業に参加することになるが、利用した方が、子どもの手が離れたときに積極的に手伝えるといいと思う。講習についても明るく、楽しいというアピールが必要だと思う。利用したかったが、利用できなかった方もいるため、地域の支援体制が充実するとよい。</p>
田中委員	<p>身近なところで、支援できることは非常によく、こちらから出かけていくという、身近な支援の充実を方向性として見い出せるとよい。</p>
林美希委員	<p>出かけるのは大変、短時間でも見てもらえるのは有難い。利用回数は決まっていると思うが、そういった事業を充実していただけると子育ての負担も軽減されると思う。</p>
和泉会長	<p>子育て支援は、信頼が大切である。どういった方が支援してくれるのか見えてくれば利用者も増えると思う。支援している側の顔も見えるとといったことも含めて平成27年から充実させられるといいのではと思う。</p>
事務局	<p>御意見の通りで、出来るだけ地域の方の力も借りながら、また、サービスを利用した方が次の世代で支援できるような循環</p>

	<p>になればよいと考えます。また、ニーズ調査を行い、改めていろいろなニーズがあることがわかりました。これらに対し出来るだけ細かく対応できるよう、明るい見通しが立てられるよう検討していきたいと考えています。</p>
戸張委員	<p>以前、新入園児に対する入園説明会があり、その時にファミリー・サポート・センター方が来て説明をしてもらった。今は、病児・病後児保育の説明に来てもらっている。知らせることが重要だと思うので、説明する体制も計画に位置付けてもらえれば有難い。</p>
和泉会長	<p>全体として理念があり、それが計画の内容につながる。そして、さらに利用につなげていくという段階がある。その辺りの道筋が見えてくるような計画になるといいと思う。</p>
事務局	<p><子ども・子育て支援新制度の動向について説明> 【関係資料】 資料4「子ども・子育て支援新制度の動向について」</p>
和泉会長	<p>保育の必要性の認定については、利用者にとっても新しく変わるとは思いますが、何か御意見、御質問等ありますか。</p>
田中委員	<p>現在、市は80時間であるが、時間を短くすることによって拡大が見込まれるため、月80時間を下げることはいいと思う。学童保育室について、資料2-1の傾向を見ると学童の利用希望は、増えると読んでいる。現実の問題として広報を見ると、学童指導員の募集が何度となく掲載されている。指導員の確保は特別にこうだということはあるか。</p>

事務局	<p>国の基準では、48時間から64時間までの範囲で市町村の実情に合わせて設定すると示されました。特に待機児童を抱えている市町村では、この基準以上の設定をしていると思われる。ハードルが下がると、申込者数が殺到することが予想されることから、国では基準を設けたが、市町村に10年の経過措置が付け加えられています。これからニーズ調査の集計をしていきますが、どのくらいの需要があり、どのくらいの供給が必要なのか算出していきたいと考えています。また、学童保育室について現在、市では17クラブ運営しており2名の非常勤職員と、臨時職員1名の合計3名を1クラブに配置しています。非常勤職員の学童指導員については、保育士、教員免許等を有している方で、その殆どの方が有資格者となっています。一部、子育て経験者がいますが、そういった方々には講習を受講していただくよう考えています。施設の面については、概ね基準を満たしています。学年の枠が広がるため、利用希望の数値を把握し対応していきたいと考えています。</p>
林桂委員	<p>今は別の学童保育室へ異動したが、指導員に相応しくない格好をしていた。小学生を指導する指導員として相応しくない格好についての指導についてはいかがか。</p>
和泉会長	<p>資格を有していることや人員の確保は重要であるが、同時に質についても重要で、それをいかに担保していくのか、また、御意見やクレームにどのように対応できる体制が作れているのか、あるいは作っていくのか伺いたい。</p>
事務局	<p>指導員に関しましては、御意見等をいただくことがあり、直すところはきちんと直すといった対処をしています。今回の服務に関する御意見については、共通の基準を作り指導員に徹底</p>

	<p>していきたいと思います。現在も有資格者ということで指導員の募集をしていますが、応募の少ないのが現状です。いろいろと手段を尽くしていますが、この先も全国的に保育士不足が拡大していくと予測される中で、できる限り現状の体制で進めていきたいと考えていますが、例えば民間事業者の協力を得ることも検討せざるを得ない状況も出てくる可能性もあるのではないかと考えています。</p>
和泉会長	<p>具体的に職場環境や待遇等、集まりにくくさせている原因について市の方で何か把握しているか。</p>
事務局	<p>特に待遇面で課題があるとは認識していません。ただ、応募いただくうえで、どの程度の水準が働きやすい条件なのか、研究も足りなかった部分もある可能性もあるため、きちんと考えて保育士等の有資格者の人員確保に全力を挙げていきたいと思っています。</p>
林美希委員	<p>保育士は、責任が大きく仕事の大変だと思う。募集要項を見ると時間は長く賃金としては低い。一度リタイヤした方が復職する場合に、勤務時間や賃金について検討すれば人員の確保ができるのではと思う。</p>
和泉会長	<p>他に御意見等いかかでしょうか。</p>
田中委員	<p>安定した形での指導者の確保の仕組みが必要だと思う。特に指導者は大事な部分であるため、そのような仕組みが考えられればいいと思う。現在は、行き当たりばったりのような感じがする。</p>

和泉会長	<p>長期的な見通しで、資格があればいいのではなく、また、働く側のニーズも考えながら質や人員の確保を長期的にしていく必要があるという御意見があった。</p>
田中委員	<p>資料 2 - 1 の課題の中にも入っているので検討いただきたい。</p>
和泉会長	<p>魅力のある職場で働く側のことも考えられていれば、いろいろなところから集まってくる可能性もあるかと思う。</p> <p>他に何かありますか。</p>
小助川委員	<p>それについての提案がある。魅力のある職場の一番の魅力は、給料だと思うが、こういう問題にこそ地域を巻き込んでみてはどうかと思う。地域とともに育むということが大事だとわかってきたので、具体的なプランとして推し進める中に、学校は安全面で難しい面もあるが、地域に開かれた小学校、地域に開かれた学童保育室みたいなものを具体的にしてはどうか。職員の手が足りないから頼るのではなく、職員にとって魅力であるとともに、地域の方も同時に巻き込んだ子育てを具体的に基本理念に盛り込んでいただけたら、わかりやすいし、魅力的だと思う。</p>
和泉会長	<p>やはり長いビジョンでどういったものを目指していくのかといった時に、地域は非常に大事である。その辺りを理念とつなげて考えていただければ有難いと思う。</p>
事務局	<p>これからの子育ての現場で働いていただく人材については、スキルも必要、質の確保も大切だと感じています。ただ、今のままでは限界があるとも感じており、地域の力を借りることも</p>

	<p>含めてどのような仕組みを考えていけば地域の協力が得られるのか、また、地域の方は資格を持っている方もいますので、そのような方にどのようにして子育て支援事業を知ってもらえるのか、当然、待遇面も含めて人材確保は非常に重要な部分だと感じていますので、民間の幼稚園、保育園の御意見や、現場での話も伺いながら市としても考えていきたいと思ひます。</p>
戸張委員	<p>他の市町村では、保育所が学童保育室も運営しているところもある。市内で計画の予定がある保育所については、学童保育室の計画はあるか。</p>
事務局	<p>現在のところ、民間事業者で学童保育室の運営についての相談はありません。</p>
田中委員	<p>学童保育室の運営は、指導員だけである。学校だと地域に知っていただくために、運動会や学校公開などがある。地域の方は、殆ど学童保育室を知らないなので、もう少し地域の方に学童保育室についての情報を発信したり、イベント等があればいいと思う。子育ての終わった方が、空いている時間を当てていただけるような、開かれた学童保育室があってもいいのではと思う。</p>
和泉会長	<p>地域へのアプローチが足りないのではという御意見もいただいた。他に何かありますか。その他、御意見がなければ議事は以上となります。ありがとうございました。</p>
和泉会長	<p><会議録署名人の指名> 田中委員と戸張委員を指名。委員了承。</p>

<p>事務局</p>	<p><その他について説明></p> <p>今回の内容は、1点目としてニーズ調査の確定値を踏まえた分析をお示ししたいと考えています。2点目は、調査結果を踏まえた量の見込みもお示しできればと考えています。3点目は、保育所の保育料と学童保育室の保育料についてご提案させていただきたいと考えています。4点目は、新制度について全国的な大きな動きがあればお示しさせていただきます。今回は、これまでよりも時間がかかると思われるので、よろしくお願いいたします。</p> <p>今回の審議会は、平成26年3月27日（木）午後6時からに決定。</p> <p><閉会></p>
<p>以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>平成26年2月25日</p> <p>署名委員（戸張精一 自署） 署名委員（田中公明 自署）</p>	